

令和5年度原子力防災訓練等における前年度課題への対応状況

令和5年度訓練等での前年度（令和4年度）課題への対応状況は、次のとおり。

	課題（令和4年度）	令和5年度訓練での対応
1	住民の不安をやわらげ、原子力防災に対する理解を促進させるため、訓練参加住民に対する丁寧な情報提供が必要	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海路避難前に、避難ルート上の空間放射線量率を測定する海上モニタリングを実施し、測定結果（異常なし）を住民へ伝達 ・普及率の高いYahoo!防災速報アプリでの住民広報を実施
2	幅広い年齢層に原子力防災の啓発を図るため、より多くの住民が参加する訓練の実施を検討	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8年ぶりに住民避難訓練を休日（土曜日）に実施 ・小中学生や外国人等含む261人が参加（前年度181人）
3	要配慮者を安全に搬送するため、歩行が困難な要配慮者の搬送訓練の実施を検討	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自力歩行が困難な要配慮者の搬送訓練について、車椅子やストレッチャーのまま航空自衛隊大型ヘリへ搭乗させ空路搬送する訓練を実施
4	放射性物質放出後のモニタリング活動において、個人線量計による被ばく線量管理の実施が必要	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時モニタリング訓練に参加する要員について、個人線量計やスクリーニングによる被ばく線量管理を実施
5	迅速に初動対応を行うため、ドローンに取り付けるカメラの日時設定等を、遠隔で操作できる機器等の導入を検討	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローンに搭載したスマートフォンのアプリとカメラを同期させることにより、日時設定等運用手順の簡略化を実施
6	要員の対応能力の向上を図るため、初動対応を含めた訓練の実施を検討	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">以下のとおり対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県災害対策本部とオフサイトセンターにおいて、要員の初動対応を確認する図上訓練を実施